

FFG

ディスクロージャー誌 2011
あなたのいちばんに。編



「成長軌道を確かなものに」
～ABCプラン一年目を振り返って～
トップメッセージ

平成22年度の**業績ハイライト**

FFGの社会的責任 **CSRレポート**

「準備」は、できていますか？
「生命保険」について一緒に考えさせてください。

いらっしゃいませ！
ようこそFFGのホームページへ

来て！見て！My Town～福岡編～



名刺に記載の氏名は仮名を使用しております。

あなたのいちばんに。

「銀行に行かなきゃ」を

「あの人に会いに銀行に行こう」へ

Contents

- 03 トップメッセージ
「成長軌道を確かなものに」
～ABCプラン一年目を振り返って～
- 05 特集 ともにつくる
- 13 ライフステージと
FFGの商品&サービスラインナップ
- 15 「準備」は、できていますか？
「生命保険」について一緒に考えさせてください。
- 17 いらっしゃいませ！
ようこそFFGのホームページへ
- 19 地域密着型金融への取り組み
- 21 CSRレポート2010-2011
- 22 環境共生活動
- 23 生涯学習支援
- 25 ユニバーサルアクション
- 27 来て！見て！My Town ～福岡編～
- 29 業績ハイライト
- 34 FFGのネットワークとプロフィール

「これ、あなたの似顔絵？」
私たちの名刺をお客さまにお
渡しすると、こんな言葉が
返ってきます。

名刺に載っているこれらの
行員のイラストは、FFGグ
ループのホームページやATM、



ポスターやTVコマーションなど、さまざまな場所で活躍しています。

今春、FFGでは女性行員のユニフォームをリニューアルしましたが、実は、同時に女性行員のイラストも一緒に衣替えをしていることにお気づきでしたか？

このように、イラストたちは、私たちにとつての分身とも言える存在です。この分身を名刺に載せる、というアイデアには、「ご自宅に戻られたお客さまが名刺をご覧になったときに、名前だけでなく、私たちの顔や声も一緒に思い出していたいただきたい、という願いが込められています。

「あ、銀行に行かなきゃ」と思われたお客さまが、私たちの顔を思い浮かべて、「あの人に会いに行こう」に変わる、そんな銀行を目指しています。

「成長軌道を確かなものに」

「ABCプラン」一年目を振り返って



ふくおかフィナンシャルグループ
取締役会長兼社長

谷 正明

◇「ABCプラン」一年目を振り返って

ふくおかフィナンシャルグループは、昨年4月から、第三次中期経営計画「ABCプラン」を「Always Best for the Customer」をスタートさせました。

「ABCプラン」は、前中期経営計画で整備した経営インフラを徹底活用して営業面での積極展開を進め、FFGの成長軌道を確かなものとする「加速ステージ」と位置づけております。

「ABCプラン」初年度の平成22年度は、欧州の経済不安やそれに伴う円高の影響を受けて地域経済も全般に厳しい状況が続き、年度末には震災の影響により一部企業の生産活動が大きく低下するなど、景気下押し圧力が強まりました。

そのような状況下、平成22年度の業績は、市場金利の低下による利ざやの縮小を貸出金・有価証券運用の増加や経費の削減でカバーし、また信用

コストも減少したことから、FFG連結当期純利益は計画を10億円上回る260億円となり、中計初年度としては順調な滑り出しとなりました。

また、平成22年3月末の預金・貸出金は、グループ3行揃って前年を上回りました。特に、熊本ファミリー銀行と親和銀行は、県内預金・貸出金の増加基調を確かなものにし、成長トレンド入りに手応えを感じることができた一年になりました。

◆お客さまとのリレーション強化

「ABCプラン」では、「お客さまとのリレーション強化」を基本方針として掲げており、特に個人のお客さま、中小企業のお客さまとのお取引推進を重点施策として取組んでおります。

個人のお客さまには、お一人お一人のライフサイクルに応じた相談営業とアフターフォローで「人生設計そのものをサポート」してまいります。従来から預金・債券・投信・保険などを豊富に品揃えしております。また、福岡銀行では、IC乗車券とキャッシュカード・クレジットカード・ローンカードが一つになった、「アレコレニモカ」の取扱いをスタートさせました。平成22年度からは医療保険やがん保険といった保障性の保険商品の販

売を始め、ご好評をいただいております。

中小企業のお客さまには、創業・新規事業・事業再生へのお手伝い、高度な専門知識を活かしたソリューションメニューのご提供、新商品や資金調達手段のご提供を通じて、「事業活動そのものをサポート」いたします。

お客さまとの最大の接点である店舗については、現在、心地良い空間をご提供できるよう、建替えや改修を進めております。また、インターネット取引についても、お客さまの利便性向上の観点から機能改善に取組んでおります。

ハード面の改善に加え、各営業店の店頭やロビーにおきましては、心のこもったおもてなしのコミュニケーションで、お客さまにご満足いただけることを目標に、質の高いサービスをご提供する活動を進めております。

こうした活動を支える行員の人財育成にも力を入れており、お客さまお一人お一人のご相談に丁寧かつきめ細やかなご対応ができるよう、育成プログラムを実施しております。

◆生産性の劇的な向上

「ABCプラン」では、前中計で整備した経営インフラを徹底活用して、生産性の劇的な向上を図ります。

現在、コールセンター方式による受電業務の集中化、各種書類の集中保管、事務の集中化など、事務改革を進めております。

店頭の事務量を大きく削減することで、店頭をお客さまのためのコンサルティングスペースに転換し、お客さまとのリレーション強化と効率化の同時実現を目指します。

◆「あなたのいちばん」。

この度の震災の影響は、企業の生産や個人消費の低迷など、わが国経済全体におよんでおります。FFGはこのような厳しい経済環境においてこそ、地域社会に貢献する地域金融グループとしての真価を発揮すべきと考えます。

FFGのブランドスローガンは、「あなたのいちばんに。」であります。このスローガンにはFFGのお客さまに対する思いが集約されております。お客さまの声に心から耳を傾け、対話し、ともに歩んでいくことで「いちばん身近な」、お客さまに最適なサービスを提供することで「いちばん頼れる」、そして、金融サービスのプロ集団として、お客さまの期待を超える提案を続けることで「いちばん先を行く」地域金融機関であるために従業員一同努力してまいります。



特集

とものにつくる

企業と大学がともに手を携えて問題解決に取り組む「産学連携」。
「とものにつくる」からこそ生まれる無限の可能性に迫ります。

コンビニエンスストアなどで、テレビ番組の名前を冠したパンやお弁当などを見かけたことはありませんか？

また、有名ブランドの付録を目当てに雑誌を買ったことはありませんか？

これらはいずれも、企業(メーカー・ブランド)同士のコラボレーションによって誕生しているものです。

九州でも、新幹線(鹿児島ルート)の全線開通を記念して、大手食品メーカーとJR九州が共同開発した
ご当地カップラーメンが限定販売されました。

お互いの「強み」を活かすことで、「1+1」が「3」にも「5」にもなるのがコラボレーションの魅力と言えますね。

今回は、このコラボレーションの一つの形として、「企業」と「大学」とが手を携え、
一体となって共同研究・開発に取り組む「産学連携」をご紹介します。

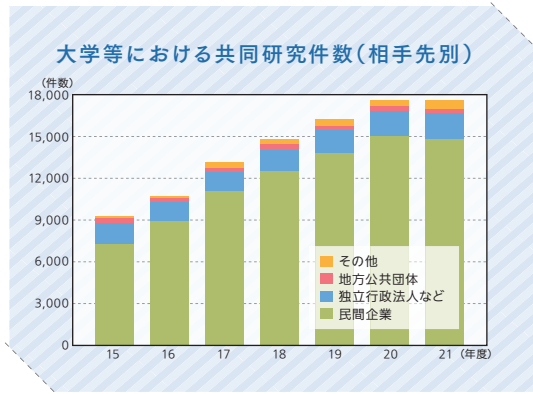
〈参考文献〉・「平成19年度九州地域のイノベーション創出に向けた基礎調査」九州経済産業局
・「スタート!産学連携」産学連携プロジェクト研究グループ
・「産学官連携データブック」産学連携ジャーナル」独立行政法人科学技術振興機構

「産学連携」とは

「産学連携」という言葉をご存知でしょうか。一言で言うところ、「企業と大学とが手を携えて問題を解決したり、新しい技術や商品を生み出したりする取組み」のことです。

ここに行行政などの「官」による協力が加わって、「産学官連携」と呼ばれることもありますが、左のグラフから分かるように、大学などにおける共同研究の8割以上を「民間企業との共同研究」が占めています。

では、着実に件数を伸ばしているこの産学連携の魅力とは、一体どのような点なのでしょう。



産学連携の魅力

多様な人材と英知が結集する大学・研究機関などでは、数多くの研究成果が生み出されます。未来に開花し結実する「種」になぞらえて、「シーズ(S E E D S :種)」と呼ばれるこれらの技術やノウハウが、企業の「事業」ニーズ(N E E D S)と結びつくことで、それぞれが単独ではなし得ない課題解決や技術開発を行うことができます。これが産学連携の大きな魅力の一つです。

企業側は、大学を介して研究者などの豊富な人脈を享受することもできますし、また大学側も、産業界のニーズを把握することで、研究成果を社会還元につなげることが可能になります。さらに、企業と連携することで、外部からの資金(研究費)を確保することもできます。

このように、「企業」と「大学」とが「win-win」の関係を実現できるのが産学連携の醍醐味と言えるでしょう。

産学連携の課題

しかし、産学連携には、乗り越えなければならない課題があります。

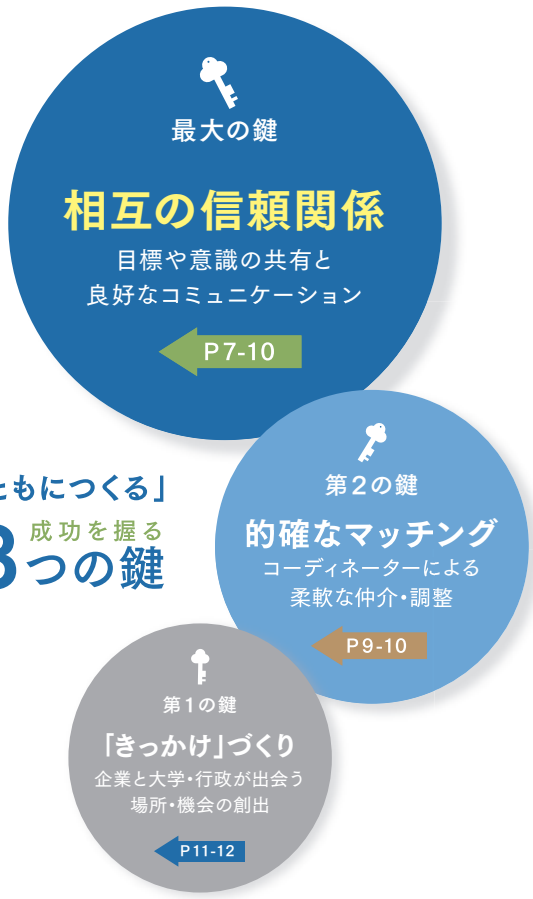
まず、企業からよく聞かれる声は、「大学との接点がない、敷居を感じる」というもの。この状況を打破するためには、企業と大学とが出会う「きっかけ」が必要。こうした声を受け、最近では、多くの大学に産学連携の担当部署が整備されているほか、私たちFFFGのような金融機関による交流会なども、「きっかけ」の場として積極的に活用されるようになりました。

また、利益創出を求められる企業と知識の体系化を目的とする大学では、存在意義や価値観などが大きく異なることも課題の一つとなっています。そのギャップを乗り越え、「シーズ」と「ニーズ」の的確な「マッチング」を行うためには、企業と大学との橋渡しをしてくれる調整役

(コーディネーター)の存在が欠かせません。双方の立場に立って時には「通訳」をしながら「マッチング」を行うコーディネーターは、産学連携の重要な裏方とも言えるのです。

最後に、産学連携にモデルケースはありませんが、成功を握る最大の鍵が「相互の信頼関係の構築」であることは間違いありません。お互いに敬意を持ち、目標やそれに懸ける想いを共有することで、良好なコミュニケーションが生まれ、成功の花が開くのです。

次頁以降で紹介する事例には、産学連携成功のためのヒントがたくさん盛り込まれています。「1+1」が「∞(無限大)」になる可能性を秘めた「産学連携」の世界を紐解いてみましょう。



人と人、人と地域、 人と自然がつながる暮らしを

新しい住まいのカタチ「荻浦ガーデンサバール」の開発計画が進む中、「理想はあっても、それを実現するために必要なノウハウや技術がなかった」という株式会社大建を後押ししたのは、産学連携という推進力。志を同じくする情熱が理想を現実に変えていったその経緯を、代表取締役社長の松尾憲親さんに伺いました。

町並みと共鳴し合い 資産価値が上がる住宅に

「荻浦ガーデンサバール」のコンセプトについてお聞かせください。

一言で言うならば、日本の住宅の原点に戻った住まいの在り方です。向こう三軒両隣の人たちとお互いに顔を知っていて挨拶を交わし合うような地域づくりをしたいと考えました。また、人だけでなく、地域の自然や歴史、文化とも深く関わっていきける住宅を目指しています。

―その想いに至ったのはなぜですか？

福岡は2軒に1軒といわれるほど全国で最もマンションの割合が高く、隣の人さえ知らないということも少なくありません。そこで、人と人、人と地域、人

と自然がつながる住宅を造りたいと考えるようになりました。

また、日本の住宅は年々資産価値が下がり、その寿命が平均27年と非常に短いことも問題だと思えます。一方、欧米諸国では、家は代々受け継がれるため、子どもは別荘を買い足すなど、資産をスツックできるんですね。こうした違いを知るにつれ、長く住めば住むほど資産価値が上がる住宅を造りたいという想いも強くなりました。

―コンセプトが具体的に反映されているのは、どういふところですか？

最も象徴的に表われているのは、住宅のデザインですね。実は、当初は煉瓦造の住宅を考えていました。しかし、住宅に関してご教授いただいている先生に「この地域には歴史ある素晴らしい町並

みがあるのだから、デザインも地域とつながるものにしなければいけない」とアドバイスをいただくことができ、既存住宅と共鳴し合うよう、白壁と瓦屋根を用いたデザインにしました。

課題を「点」ではなく 環境ぐるみの「面」で捉えて

―そうした中で私どもに「産学連携」のご相談をいただきました。

まず、敷地内で貯水したいな、とは以前から思っていました。また、地域の緑に溶け込むためには植栽も重要だと考えたのですが、関心はあっても知識がありません。そこで、この2点を福岡銀行へ相談し、九州大学の島谷先生と朝廣先生をご紹介いただきました。

荻浦ガーデンサバール

「安心して人と自然とつながる暮らし」をコンセプトに株式会社大建が提案する「荻浦ガーデンサバール」は、2世代3世代と長く住まうほどに住宅価値が上がるコミュニティガーデンハウス。荻浦地区(福岡県糸島市)に自生する木々や花でいっぱいの緑豊かな公園の中に、歴史ある町並みに溶け込むデザインの家が立ち並びます。



株式会社大建

代表取締役社長 松尾憲親
宅地建物取引業・補償業務・
土木設計
福岡市早良区南庄2丁目9-12
092-851-3900(代表)

◆「二つ目の課題」貯水

島谷先生には、ビオトープによって貯水した雨水と家庭雑排水を敷地内で循環させたいという構想をお話ししたところ、残念ながら家庭雑排水の利用には、まだ研究が必要とのことでしたが、代替案として、家庭雑排水に頼らなくてもいい方法を提案してくださったんです。アスファルト舗装をせずに多くの雨水を貯めたいという構想に対しては、透水性を持つ素材があることを教えていただきました。

◆「二つ目の課題」植栽

私どもには、地域の植栽を活かし、さらには地域の歴史や文化とも共存したいという願いがありました。朝廣先生はその想いを知り、地域のお祭りや自然環境、歴史、文化、風土といったものまで含めた広い意味での「土壌」から調べたうえで、敷地内のブロックごとに植栽計画を提案してくださいました。例えば、線路沿いには遮音性を、西日が射すブロックには遮光性を考慮した植栽を、といったプランです。

その際に何度もおっしゃったのは、「外来種ではなく在来種を」ということでした。外来種は育ちにくかったり、今までいなかった害虫を呼んでしまつたそうです。



先生方お二人に共通しているのは、住民との対話を大切にされることと、課題を「点」で捉えるのではなく、地域との共生という明確なビジョンに基づき、大きな「面」として考えていらっしゃることでした。

信頼感とチームワークを礎に
想いを叶える真の連携へ

―産学連携での研究開発を終えた今、どのような感想をお持ちですか？

中小企業には理想はあっても、それを実現させるためのノウハウや技術がありません。「私どももいつかは…」と考えていたのですが、直接大学の門を叩くのはハードルが高いうえ、自分たちの構想がどの研究室とマッチするのかわかりませんでした。銀行にコーディネートしていただけたからこそ、産学連携が実現したんです。

―共同開発をする中で、苦労されたことはありますか？

強いて言えば、お忙しい先生方とコンタクトが取りにくかったことでしょうか。でも、研究室の学生さんや研究員の方をメンバ―に加えたりするなど直接会わなくてもサポートできる体制をとってくださったので、大変心強かったですね。

何より嬉しかったのは、つい熱っぽく荻浦ガーデンサバールのコンセプトま

で語っていたら、「それ、いいじゃないか。仲間になろう。応援するよ」と言ってくくださったことです。志を同じくするお知り合いを紹介していただき、ネットワークも広がりましたし、これからは先生方とはお付き合いが続きそうです。

―産学連携の際、企業側にとって大切なことは何だと思われますか？

一番大切なのは、お互いの信頼感とチームワークですね。それは断片的な相談だけでは得ることができません。コンセプトや全体像、熱意や想いが伝わってこそ、真の連携が実現するのではないのでしょうか。私たちのプランが拙いものもあるにもかかわらず、何とかしてやろうという姿勢になってくださったのは、それがあったからだと思います。

―最後に産学連携において銀行に期待されることをお聞かせください。

銀行が大学との間に入ってくださることは、企業にとって弾みになり、信頼にもつながります。しかし、銀行に産学連携の後押しをしていただけないことが事例としてあまり明確に見えてこないのが現状です。「産学」あるいは「産学官」といいますが、やはり金融機関の「金」は欠かせません。これからは積極的に企業と大学を結びつけ、資金面でのバックアップ体制を明確にして、産学連携を活性化させていただきたいと思えます。

problem:

「住宅地の敷地の中で、水を循環・利用したい」

solution:

住宅地全体で効率的に雨水を貯水しましょう



九州大学大学院
工学研究院 教授

島谷 幸宏さん

博士(工学)技術士(建設部門)
環境都市部門
流域システム工学研究室
専門: 河川工学・河川環境

Q 島谷先生の研究について教えてください。

河川の研究が専門で、生態系や景観の保全などといった環境問題から、治水・都市の水害問題まで総合的に研究しています。

例えば、九州では豪雨に見舞われると、河川へ一気に水が流れ込むので、氾濫や洪水が頻発していますよね。それを緩和するためには、ダムなど特定の場所への一点集中型の貯水ではなく、流域の各家庭などで網目のように分散して貯水するのが効果的なんです。そうした新しい貯水・循環システムの構築を目指した研究・技術開発を行っています。現在、次世代に向けて、1世帯あたり6トンの貯水槽を設置する「水を貯める住宅」を、土木・建築学界で協力して提唱しているんです。

Q 「貯水」についての相談を受けてどう思われましたか？

私たちは、学校や公園、個人住宅などさまざまなケースについて雨水貯水のノウハウを蓄積する必要があるのですが、またとない話でした。

当初は、家庭雑排水も利用したいということでしたが、さまざまな問題があったので個人住宅では難しいと判断し、「住宅地の敷地全体で雨水を貯めましょう」と提案しました。具体例を一つ挙げれば、透水ブロックによる舗装です。土とセメントでできた透水ブロックは、雨水などを地下に透過します。これにより、貯水の効率がぐんと良くなります。また、居住コストを下げることができ、災害時の緊急用水にもなるため、貯水槽の設置も提案しました。貯水槽に水が貯まらなければ「今年は濁水かな」など水への関心が自然と芽生え、それが近隣の人との話題の種にもなる。松尾社長は「コミュニティとしての住宅地を造りたい」という強い熱意を持った方ですから、この話をすると非常に共感してもらえました。「同じ県にこんな想いの人がいるのか」と嬉しくなりました。

Q 先生にとって、「ともにつくる」ことの魅力とはどういうことですか？

研究のための研究では意味がない、というのが信条ですから、私の研究室では、すべて対象となる具体的な場所を決め、その個別の問題を解決するための普遍的な技術を研究するというスタイルをとっています。環境問題は、社会の中で機能しなければならぬので、研究成果や技術を社会に組み込んでいく必要があります。産学連携はその大きな一翼と言えますね。そして新しい事業を展開するには、産と学だけでなく、行政や金融機関の参加も欠かせません。法令などの整備や資金面での援助はもちろんです。特に地域金融機関には表層だけでなく深部までもっと積極的に関わって理解してもらい、一緒に仲間となって、後押しをして欲しいと感じます。

実は、水に関心を持ってもらいたい、という想いから、福岡で平成16年から展開している「打ち水大作戦」の代表を務めているんです。「打ち水」そのものは、10分もあれば終わってしまう小さな行為なのですが、空気の対流が起こることで風も吹くし、何よりみんなで集まって取組むことで「行動の風」が吹くんですよ。これがまさに、「ともにつくる」ことの醍醐味ではないかと思えます。



島谷先生が推薦した透水ブロック。クッション性があるので歩きやすい。内部の微細な隙間に水が浸透することで夏は涼しく冬は暖かいという効果も。

コーディネーター

中村 雅昭さん

九州大学知的財産本部
総合調整グループ
コーディネーター



「産学連携コーディネーター」とは、企業からの相談に対して、最適な大学教員を調査し、産と学の連携を調整する役割のこと。まず、企業担当者へ行ってヒアリングし、対応する教員や連携の手法の選定から連携契約に至るまでをお手伝いします。

相談件数は年間約120件ですが、すべてが大学で対応できる相談内容ではなく、共同研究にまで至るものが全体の約1割。コーディネーターとのヒアリングの中で解決したり、技術指導やコンサルティング、有料



problem:
「もともとあった植栽をそのまま活かしたい」

solution:
歴史や文化を踏まえた「緑のデザイン」を導入しましょう

九州大学大学院
芸術工学研究院 准教授
朝廣 和夫さん
博士(芸術工学)
専門:環境・遺産デザイン部門

Q 朝廣先生の研究について
教えてください。

自然環境は、土地や水辺に生息する豊かな「生き物」空間です。緑地保全の観点から、私たち人間と「生き物」とがどのようにバランスをとっていくか、それが私の研究分野です。

街として緑を残していくには、行政や産業界だけでなく、市民一人ひとりの理解と協力も必要になります。そのため、環境についての調査・管理を行い、それを環境教育として伝える、ということを連動させることで、街としての「緑のデザイン」の計画・設計を目指しています。

Q 「植栽計画」についての
相談を受けて
どう思われましたか？

まず、古い歴史のある土地に新しい住宅地ができる、という点に関心を持ちましたね。現在の日本は都会に人口が集中しすぎていますから、今後は、田舎で子育てをしたい、という若いご夫婦がきつと増えると思うんです。そうした住宅地にこそ、緑地保全の考え方を伝え、根付かせたいと感じました。また、社長がとても研究熱心な方で、造りたい住宅地の明確なビジョンを持ち、大学にも密に「コンタクトを取ってきてくれました。そういったチャレンジ精神や熱意に非常に共感したんです。

対象の土地にもともと植わっていた花桃や木瓜、椿などを活かしたいという相談だったのですが、今回は、荻浦の歴史や文化・風土とともにその地で育ってきた植栽を取り入れる、というアプローチを取りました。

全てはその地を知ることからスタートです。周囲の環境や成り立ち、年中行事などについて区長や地元住民の皆さんからお話を聞いたたり、「あ、石楠花だ、沙羅だ」なんて言いながら近辺のお寺や古民家の庭を探して回ったりしましたよ。

そうして見えてきた「緑のデザイン」を、防音が必要なスペースにはこれ、コミュニティケーションスペースにはこれ、といった具合に、住宅地の外構デザインの随所に取り入れることを提案しました。

Q 先生にとって、
「ともにつくる」ことの魅力とは
どういうことですか？

私の研究室は、フィールド重視。「具体的に」でありたい、社会の中で研究成果を機能させたいと考えています。特に学生にとっては、「産学連携」によって社会の最先端で動いている現場で物を見て、考える機会が得られることは貴重な機会です。また、企業ニーズが見えることで研究フィールドが広がったり、共同研究を通じて、企業と大学とが接点を持ち、人の交流が生まれたり、というのも「産学連携」の大きな魅力の一つです。

大学が企業に望んでいるのは、何か新しい開発計画や事業を始める際に、プロジェクトを立ち上げて、「一緒にやろうよ」と私たちに声をかけて欲しいな、ということ。特に「環境デザイン」はコミュニケーションによって育んでいくものだから、お互い腹を割ってストレートにお付き合ひして、一緒に良いものをつくっていきたいですね。

また、今回の調査に基づいて、荻浦地区の自然や文化について学生たちと一緒に冊子にまとめたんです。これは、地元の方々に色々教えていただいていた、言わば「ともに」作ったものだから、ぜひお渡ししたいですね。自分たちの暮らしの土地の環境・自然について興味を持っていただくきっかけになれば、とても嬉しく思います。



朝廣研究室発行。地域の祭事や地歴、緑地・植物の分布についての調査を、学生の視点で編集。冊子を片手に荻浦を散策すれば、新たな発見に出会える。

技術相談での対応が全体の約5割になります。教員の研究内容に関連するものであれば大学側は積極的に取り組みたいと考えていますので、「課題は何か、どんな支援が必要か、そのためにはどんなスキームが必要なのか」を明確にして、最適な連携を支援したいと思っています。お気軽にどうぞご利用ください。

成功したケースに共通して言えるのは、企業の士気が非常に高いということ。立場が違えど、人と人がともにつくるのですから、熱い想いを感じるとコーディネーターも「最適なマッチングをしたい」、教官側も「ぜひ手助けしたい」と熱が入ります。機械、エネルギー、理化学、農林、建築、電気、教育…など多岐にわたる内容をほぼ一人で対応するのは大変ですが、マッチングが成功したときの嬉しさには敵いません。これからも、大学・企業双方の立場で、問題解決のお手伝いをします。



お客さまと「ともにつくる」ために
FFGにできること

産学官金連携



産学連携サービス

FFGでは、大学研究機関などにおいて生み出された技術やノウハウなどの「シーズ(SEEDS:種)」と、お取引先企業の「事業ニーズ(NEEDS)」とのマッチングを行うことで課題解決を目指す「産学連携」に積極的に取り組んでいます。現在は、下記の7大学・高専と産学連携協定を締結し、「産」と「学」とをつなぐ架け橋として、地域産業振興のお手伝いをしています。

各大学・高専とも積極的に産学連携に取り組み、「地域の発展」「学術の振興」「まちづくり」「地域人材育成」などを目指しています。

また、行政機関などの補助金等各種制度の活用をサポートすることで、新規事業の創出や研究開発における課題解決などをお手伝いしています。各地方公共団体のネットワークやさまざまな企業支援メニューと、FFGグループが持つ幅広い顧客網、金融や経営に関するノウハウやツールなど、両者の経営資源を相互に有効活用することで、市や九州の枠組みにとどまらず、アジアの産業経済との融合を推進し、地域経済および産業の振興を後押ししています。

九州大学、熊本大学、長崎大学、福岡大学、福岡工業大学
崇城大学、東海大学、佐世保工業高等専門学校

●お取引先企業の技術相談や共同研究

FFGのお取引先企業が抱える技術的課題や技術開発ニーズを大学に取次ぐことで、課題解決や共同研究への発展を促します。

●大学が有する知的財産の活用

大学が持つ有望な技術シーズや特許などの知的財産を広くFFG顧客を中心とした地域産業界へ橋渡しすることで、技術移転の支援を行います。

●大学発ベンチャーや地域発ベンチャーの支援

ベンチャー企業が抱える資金、販路、ビジネスパートナー、人材などのニーズに対するサポートを行います。

●セミナーや技術発表会などの産学交流事業

大学側、銀行側双方が開催するセミナーへの参加協力や、共同開催などを行なうことで、地域企業ニーズの情報収集の場を提供します。

ビジネスマッチング

つなぐ

FFGでは、売上拡大やコスト削減、リスク管理の高度化など、お取引企業の事業展開を支援するため、新たな販売先や仕入先の発掘、提携先や業務アウトソーシング先などの事業パートナーとの出会いを積極的にサポートしています。

また、商談会の開催はもちろんのこと、個別企業間での商談設定などもお手伝いします。FFGグループ企業



「FFGビジネスコンサルティング」が中心となってサポートしますので、県境を越えた九州全域のお取引先同士とのマッチングが可能となります。

ささえる

FFG経営者クラブ

FFG3行とお取引がある法人のお客さまからなる会員組織で、会員の皆さまに法人経営に役立つさまざまなサービスをご提供しています。

経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な情報を、インターネットでタイムリーにご提供



するほか、ビジネス交流会や商談、各種セミナー・研修会などを開催しています。

FFG次世代創造プログラム

FFGは、地元九州の特性、社会環境において、事業の「中長期の成長性」「新規性」が認められる企業の皆さまが蒔かれる成長基盤強化の「種」をファイナンス面で後押しするため、平成22年7月に「FFG次世代創造プログラム」を立ち上げました。これは、日本銀行が新たに導入した「成長基盤強化を支援するための資金供給」を活用した制度で、業種ではなく、資金用途に着目した融資を行うものです。

FFGでは、下記の10分野を対象として、資金用途に「新規性」「中長期性」「成長性」のいずれかが認められるものに本プログラムを適用しています。

- | | |
|---------------|---------------|
| ●研究開発 | ●高齢者向け事業 |
| ●起業 | ●観光事業 |
| ●社会インフラ整備・高度化 | ●地域再生・都市再生事業 |
| ●環境・エネルギー事業 | ●農林水産・農商工連携事業 |
| ●医療・介護・健康関連産業 | ●保育・育児事業 |
- (詳しくは各銀行へご相談ください。)

後押し
する

キューテック助成金

九州・山口地域企業育成基金(略称:キューテック)は、福岡銀行が創立40周年を記念して昭和60年に設立した財団法人で、産業界、学界など幅広く識者のご参加をいただいております。

当財団では、九州・山口地域における地域経済振興ならびに中小企業の発展に貢献することを目的に、新技術・新製品の研究開発や技術志向型中小企業が行う人材育成に対する助成金の交付、講演会の開催や情報のご提供など各種事業に取組み、設立以来の助成金交付額は216件5億8,749万円にのぼります。



【お問合せ先】
財団法人九州・山口地域企業育成基金(キューテック)
福岡市中央区天神二丁目13番9号(FKビル3階)
TEL 092-761-0448 <http://www.kyutec.or.jp>

FFGでは本制度を通じ、地域経済の成長基盤強化を担うお取引先をサポートするとともに、地域経済の更なる発展に積極的に貢献していきます。



【お問い合わせはこちらまで】※FFG次世代創造プログラムを除く
株式会社FFGビジネスコンサルティング
福岡市中央区天神二丁目13番1号(福岡銀行本店ビル)
TEL 092-723-2244 「FFG経営者クラブ」事務局:TEL 092-723-2241

ライフステージと FFGの商品& サービスラインナップ

FFGは、個人のお客さまのライフステージに合わせて、さまざまなニーズに幅広くお応えできるように、便利な商品・サービスをご提供しています。

- 3行ともお取扱いのある商品&サービス
- 福岡銀行でのお取扱い
- 親和銀行でのお取扱い

- ご預金**
- スーパー定期預金 (スーパー定期300)
 - パーソナル定期
 - 資産運用など
 - 投資信託
 - 公共債
 - 外貨定期預金
 - ミックスパック
- 福岡銀行**
- はじめてミックスパック
 - はじめてミックスパック
- 親和銀行**
- はじめてミックスパック

- 積立型商品**
- 積立式定期預金「ためるくん」
 - 積立式定期預金「ためるくんKIDS」
 - 積立型投信
- 生命保険**
- 平準払個人年金保険
 - 平準払終身保険
 - 学資保険
- 福岡銀行**
- 医療保険・がん保険
 - 定期保険
 - 収入保障保険

あなたが赤ちゃんと生まれるとき



あなたが学校へ行くとき



あなたが車を買うとき



あなたが結婚するとき



10代

20代

30代

● 総合口座

あなたが初めて通帳を持つとき

あなたが会社で働くとき



サービス、その他

- 給与振込
 - アレコレカード
 - ポイントくらぶ「マイバンク」
 - 公共料金自動振替
 - 外貨両替
 - ダイレクトバンキングサービス (テレホン・インターネット・モバイル)
 - インターネット専用口座「ネットワン」
 - 外貨両替予約販売サービス(インターネット)
- 福岡銀行**
- アレコレ nimoca
 - iアプリバンキング(モバイル)
 - Edyチャージサービス(モバイル)
 - 海外旅行保険(インターネット)
 - 海外旅行保険(インターネット)
- 親和銀行**
- 海外旅行保険(インターネット)

- ご預金**
- 一般財形預金
 - 財形住宅預金
 - 財形年金預金
- ご融資**
- ニューオートローンDX
 - フリーローン「ナイスカバー」
- サービス、その他**
- ETCカード
- 福岡銀行**
- 自動車保険(インターネット)

結婚資金

結納・婚約から挙式・新婚旅行まで

九州平均 **約429.7万円**
(全国平均約423.1万円)

結婚情報誌「セクシー」(リクルート発行)調べ
「結婚トレンド調査2010」～平成22年～

あなたが
家を買うとき

ご融資

- 住宅ローン
- リフォームローン
- サービス、その他
- ローンセンター・ローンプラザ
- 住宅ローン休日相談会
- 長期火災保険
- 福岡銀行
- ライフプランシミュレーション
- 住宅セミナー
- 建築士サービス

住宅購入資金

住宅の平均購入価格は
世帯年収の約5倍

※2

【全国平均】約2,846.6万円

住宅金融支援機構
「平成22年度上半期フラット35利用者調査報告」

※2.注文住宅融資利用者のうち、土地取得のための借入れのない方が購入した平均価格。

あなたが
趣味を楽しむとき

あなたが
のんびりで楽しむとき
なったとき



40代

50代

60代

あなたの子どもが
進学するとき

資産運用など

- 個人年金保険
- ご融資
- 学資ローンDIX
- サービス、その他
- 自動送金サービス
- 外国送金
- 貸金庫

あなたの子どもが
結婚するとき

ご預金

- 大口定期預金
- 退職金専用定期預金
- 定期預金「夢いっぱい」

退職するとき

資産運用など

- 一時払終身保険
- サービス、その他

はじめて年金を
受取るとき

- 資産運用セミナー
- 年金受取予約サービス「夢プラン」
- 年金セミナー・年金相談会
- 年金受取

福岡銀行

- 趣味セミナー

お子さまのご進学資金

私立大の学費は国立大の約2倍

【大学昼間部の学費年額平均】

国立大 約65万円 + 生活費※1
私立大 約134万円

独立行政法人 日本学生支援機構「平成20年度学生生活調査」

※1.自宅通いの場合約35~40万円、学寮の場合約60~80万円、下宿などの場合は約100~110万円の生活費がかかる。

退職金

60歳で定年退職した場合

【平均】約2,443万円※3

(社)日本経済団体連合会
「2010年9月度 退職金・年金に関する実態調査結果」

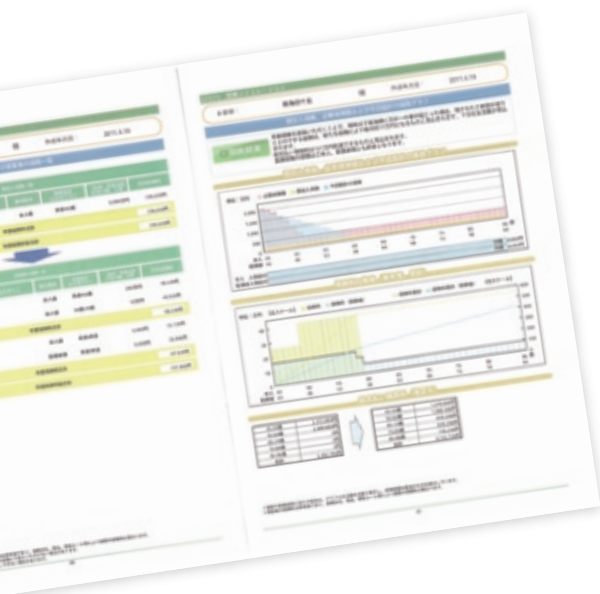
※3.管理・事務・技術労働者・総合職・大卒を標準とした場合。

これから就職する方や結婚して家庭を持つ方、お子さまが産まれる方、セカンドライフを迎える方など、読者の皆さまが今立っておられるライフステージはさまざまだと思いますが、ここで一つお尋ねします。これからのライフステージに向けてのご準備は、万全ですか？

お客さまにこうお尋ねすると、大抵「えっっ」という顔をされます。けれども、ライフプランや家族構成、ご資産の状況などについてお話を伺い、時にライフプランシミュレーション※をしながら一緒に考えていくうちに、「いざ」というときに備えて何かしなきゃ、と漠然とは思っているんだけど…」とおっしゃる方が多いのよ。

恐らく、多くの方は将来を少し不安に思い、何らかの問題があると感じておられます。ただ、なかなかじっくりと考える機会はありませんよね。こうしてお声かけしたお客さまからは、「ありがたう。考え直す良い機会になったわ」とよく言われます。そのたびに、「もっと多くのお客さまに、ご自身の中にあるニーズに気づいていただくお手伝いをしたい」と強く感じます。

※福岡銀行一部店舗でご利用いただけます。



福岡銀行姪浜支店
副島弘美



また、預金保
金額・給付金
よび計算方法



「準備」は、

できていますか？

大切なことだからこそ、

「生命保険」について一緒に考えさせてください。

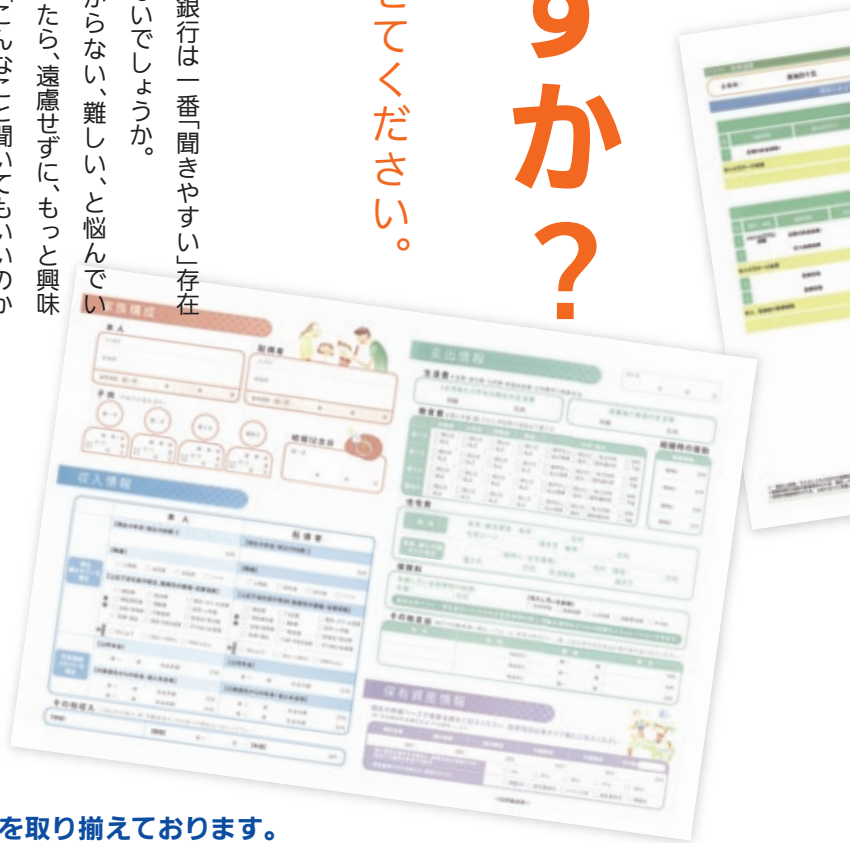
FFGでは、預金のほか各種資産運用商品などによる、金融のトータルサポートが可能です。お客様のニーズが明確になれば、そのための備えを考えるのは私たちFFGの役割です。もっともマッチしていると考えられる金融サービスをご案内しています。中でも、生命保険の大きな魅力は、お客様の世代や資産背景に関係なく、ライフステージごとのニーズに対応できること。また、私たちの暮らし、人生に「安全・安心」をプラスするものとも言えるでしょう。

保険のご案内をする、「銀行なのに保険の相談もできるの？」と驚かれるお客様もまだまだ多いようですが、多くの方にとって銀行はいちばん身近な金融機関です。普段着のお付き合いをして、日頃からお客さまのことをよく知っている

からこそ、銀行が一番「聞きやすい」存在なのではないでしょうか。

よく分からない、難しい、と悩んでいらっしゃるなら、遠慮せずに、もっと興味を持って、「こんなこと聞いてもいいのかな？」ということでも積極的にお尋ねください。

生命保険をご案内したお客さまに、「契約いただきたくと、」ここからFFGとお客さまとの新しいお付き合いが始まるのだと身が引き締まる思いがします。それと同時に、お客さまのこれからのライフステージにずっと寄り添って、例えばお子さまの進学やご結婚、ご自身のセカンドライフなどさまざまなライフイベントについて、誰かに相談したいとお感じになったときに、いちばんに思い浮かべていただける存在になりたいと思います。

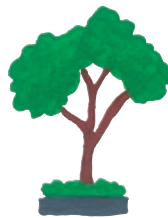


✓ FFGグループ3行ではさまざまな生命保険商品を取り揃えております。詳しくは各行ホームページをご覧ください。

生命保険に関するご留意点

福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行は保険の募集代理店であり、保険の引受けは行っておりません。生命保険は預金ではなく元本保証はありません。保険制度の対象ではありません。引受保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構の保護措置の対象になりますが、ご契約の際にお約束した年額等が削減されることがあります。生命保険には各種手数料や費用などがかかります。またその手数料および費用などは商品ごとに異なり、事前に料率などを示すことができません。ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「契約概要・注意喚起情報」および「ご契約のしおり・約款」などをご確認ください。

トップページは銀行の玄関です



店舗ロビーで行員がお出迎えするように、分かりやすいトップページがお客さまをご案内します。

「いっしょにFFGのホームページをリニューアル！」
 今春、福岡銀行のホームページがリニューアル！熊本ファミリー銀行と親和銀行も間もなくリニューアルします！

トップページでお客さまをご案内

シンプルで落ち着いたトップページは、「いちばん先に行く」FFGをイメージ。お客さまをお出迎えするロビーのように、トップページがホームページの玄関です。知りたい情報にすぐアクセスできるようにご案内します。

① 一目で分かるログインボタン

ホームページ来訪者の大半が利用されるインターネットバンキング(個人)・ビジネスバンキング(法人)は、一目で分かる位置にログインボタンを設置しました。

② 知りたい情報にすぐアクセス！

お客さまニーズが高い店舗・ATMメニューやローン・預金の金利情報などのメニューを、画面右側にインデックスで表示しました。どのページにいても、すぐに見つけられます！

③ お待たせしません。お客さまの目的別にご案内！

お客さまの目的別に「ためる・ふやす」「そなえる」「かりる」「便利・お得・安心」というテーマでメニューを分類しました。ご利用時のニーズに合ったボタンをお選びください。

④ 資産運用に役立つ情報もトップページでらくらくチェック！

さらに詳細ページでは、株価指数10種類・為替レート9種類、その他4種類の情報や、最新の株価・為替ニュースがご覧いただけます。皆さまの資産運用に、ぜひお役立てください！

便利な使い方 memo

投資信託基準価額・外国為替公示相場も、トップページからダイレクトにジャンプできます。

⑤ 初心者マークにご注目！

初めての方でも安心してお選びいただけるよう、投資信託や保険、ローンについての基礎知識や選び方などを分かりやすくご説明しています！

便利な使い方 memo

金融商品・サービスを初めてご利用の方は、初心者マークのガイドページをご覧ください。



続きはお客さまご自身で体験してみませんか？

福岡銀行	検索
熊本ファミリー銀行	検索
親和銀行	検索



ローン・資産運用

預金・為替

いらっしゃいませ!

【お手続き】

【説明・相談】

その場でお申込み・お手続きが可能!

インターネットバンキングでのお取引はもちろんのこと、インターネットでさまざまなお手続きができます。

ローンの仮申込み^(※)や、海外旅行保険・各種サービスの申込み、キャンペーンへの応募ができる

ご来店不要でインターネットからできるお申込み・サービスを、ぜひ体感してください。

※お申込みはあくまでも「仮審査申込」のため、審査応諾後正式契約を行っていただく必要があります。その場合、ご来店が必要な場合もありますので、詳しくは各銀行のホームページをご覧ください。

店舗さながらに充実した機能・情報

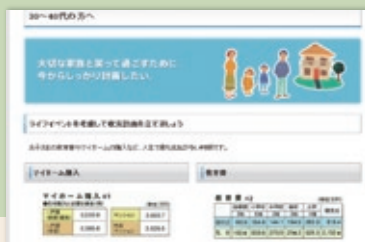
店舗でのご案内と遜色ない情報のご提供で、お客さまに合った商品・サービスの選択をお手伝いします。

お客さまの年代やライフイベントに合わせてご案内

お客さまの年代や、就職、結婚、出産、退職、といったライフイベントに合わせた商品・サービスをご案内します。

便利な使い方memo

ライフイベントに関するデータなど、お客さまの選択をサポートする情報が満載です。ご利用ください!



いつも身近に

GPS機能でお近くの店舗・ATMが探せる

GPS機能付きの携帯電話(スマートフォン除く)で、現在地からの近隣店舗・ATMの検索が可能になりました。



現在地から近い順に、店舗・ATMの情報が表示されます。

福岡銀行



※本機能は、熊本ファミリー銀行および親和銀行でも、ホームページリニューアル後からご利用いただけます。

「よくあるご質問」と「サイト内検索機能」でお客さまをサポート

お客さまからお問合わせの多い事項について、「よくあるご質問」をご用意しています。また、サイト内検索機能で、お探しの情報へのアクセスをサポートします。

各種シミュレーションが可能

ローンの返済や外貨定期預金利回りについてのシミュレーションがご利用いただけます。

投資信託基準価額の機能を充実!

基準価額順・前日比順・リターン順などに、各ファンドの並び替えが可能になりました。

便利な使い方memo

▲▼をクリックするだけで、並び替えが可能です。

運用会社	基準価額	前日比	新年度	前年度	1ヵ月	3ヵ月	1
三井住友	9,179	+1.4	9,083	9,074	+1.4	+1.9	
三井住友	9,487	-1.4	9,613	9,674	+1.3	+1.4	
三井住友	9,174	+1.3	9,483	9,574	+1.3	+1.3	
三井住友	9,548	+1.1	9,413	9,574	+1.3	+1.3	
三井住友	9,339	+1.0	9,153	9,274	+1.1	+1.4	



FFGでは、今までもこれからも、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでまいります。



地域密着型金融への取組み

FFGの経営理念と 地域密着型金融の 基本方針

FFGの経営理念は、「高い感受性と失敗を恐れない行動力」によって常にチャレンジ精神を磨き、「未来志向で高品質を追求」することで人々の役に立つための真に良い商品やサービスを最良のマナーで提供し、「人々の最適な選択を後押し」するため、お客さまとともに考え、悩み、選択のための後ろ盾となることを使命としています。

FFGの経営理念や中期経営計画（ABCプラン）の考え方は、地域密着型金融の考え方式と本質的に同一であり、グループ各行における中期経営計画（ABCプラン）の実践こそが、「地域密着型金融の推進」に資するものと考えます。

とりわけABCプランの基本方針の一つである「お客さまとのリレーション強化」は、地

平成22年度の地域密着型金融への取組み

01 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

① 創業・新事業支援および海外ビジネスサポート

地域活性化のため、地域経済の基盤となる産業育成を目的とした創業・新事業支援は、地域金融機関として重要な役割の一つであると考えます。FFGでは、お取引先の創業・新事業支援の一環として、創業・新事業融資や助成金制度の活用、産学官連携による研究開発・技術支援を行っています。

海外ビジネスサポート

今後海外進出をお考えのお取引先に対し、現地法人・工場設立などを、FFGの海外駐在員事務所・営業店・本部が一体となって支援させていただきます。

「日中ものづくり商談会@上海2010」



平成22年9月、「日中ものづくり商談会@上海2010」を、NCネットワークチャイナ・日経BPアジア社による主催、FFG3行と他23行による共催にて開催。中国での販売先・委託加工先の開拓や日中の機械製造

業関連企業とのビジネスマッチングの機会としてお役立ていただきました。

「大連チャレンジショップ」



FFGのグループ会社であるFFGビジネスコンサルティングと北九州市などが、平成21年5月に大連市内のホテルに共同で開設した常設のマーケティング拠点。中国ビジネスを志向する企業に商品の展示・販売や技術PRを行う

拠点を提供し、中国における販路拡大や取引先発掘、ニーズ調査を支援いたします。

② 事業再生・経営改善支援

- これまで蓄積した事業再生ノウハウの活用（DES、DDSなど）
- 外部機関の活用（RCC、中小企業再生支援協議会、再生ファンドなど）
- 経営改善の能動的支援態勢の整備・人材育成

③ 事業承継支援

- 本部・営業店の情報連携強化・セミナー実施
- 株式の効果的な移転スキーム、事業承継ファンド活用などの事業承継プランの提案

【事業承継支援メニュー】

- ・自社株概算評価
- ・相対対策の提案
- ・事業承継プランの提案
- ・事業承継セミナーの実施

〈グループ経営理念〉

ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、
未来志向で高品質を追求し、
人々の最適な選択を後押しする、
すべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する
金融グループを目指します。

ブランドスローガン

あなたのいちばんに。

いちばん身近な

お客様の声に親身に心から耳を傾け、対話し共に歩みます。

いちばん頼れる

豊富な知識と情報を活かし、お客様一人ひとりに最も適した
サービスを提供します。

いちばん先に行く

金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

元九州を営業基盤とするFFGにとって、「地域密着型金融の推進」そのものと言えます。FFGグループ各行では、今後も「お客様さまとのリレーション」を通じてお客様さまが抱えていらっしゃる課題や問題点などを共有し、グループ各行が連携して、グループのノウハウを最大限に発揮することにより、お客様さまのため、地域社会のために価値創造を提供してまいります。

02 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

① 企業ニーズに合致した資金供給・融資手法の提供

FFGでは、福岡銀行で蓄積したノウハウをベースに、シンジケートローンやノン・リコースローン、手形債権・売掛債権の流動化など、お取引先のニーズに応じたオーダーメイド型の多様な資金調達メニューを取り揃えています。

② ABL(債権動産担保融資)の取組み

ABL(アセット・ベースト・レンディング:債権動産担保融資)は、お取引先が所有されている原材料や商品、売掛金などを有効に活用できるとともに、銀行とお取引先とが担保資産の状況や業績に関する情報を共有するなど、お取引先とのリレーションをより一層強化できる手法です。今後ともFFGではABLの活用積極的に取り組んでまいります。

03 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

① 地元企業への情報の提供

FFGでは、福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行のお取引先向けに、ビジネスマッチング・商談会・各種セミナーなどを定期的で開催し、地元九州の広域ネットワークを活用した販路拡大のサポートや経営情報のご提供により、お取引先のビジネスの発展をバックアップいたします。

- グループの広域ネットワーク網を活用したビジネスマッチング・商談会などによる多様な営業情報などの提供
- 産学官連携を活用した地元企業の産業育成支援
- 経営セミナー、新入社員研修会、実務講座などの開催



長崎・佐世保・雲仙こだわり
食材商談会(平成22年11月)



佐賀フードチャレンジ
商談会(平成23年2月)

【調査月報をリニューアル】

さらに読みやすく、
さらに分かりやすい内容に
リニューアルいたしました!



② 地域への金融経済教育

お客様に、金融についての正しい知識を身につけて合理的な判断をしていただけるよう、資産運用・年金・保険などについてさまざまなセミナーを開催しています。また、小中学生を対象に、「金融・銀行」の社会的な役割などを身近に楽しく学んでいただくため、『「銀行の職場探検」プログラム』を展開するなど、金融を通じた生涯学習支援にも積極的に取り組んでいます。

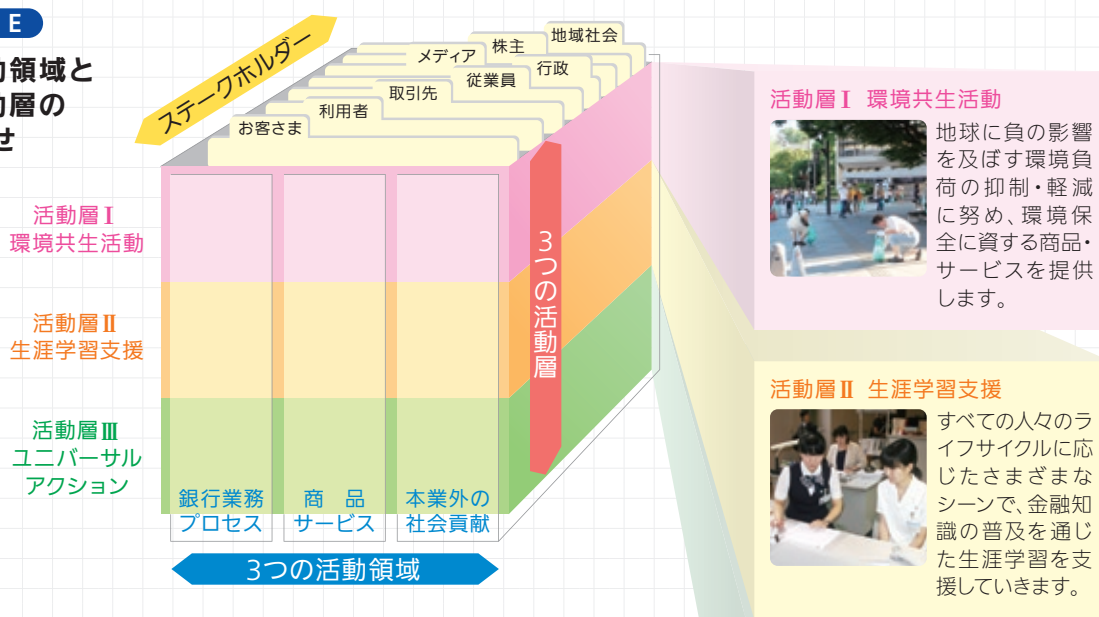
FFGグループでは、
経営理念の実践とも言うべき事業活動そのものが、
「CSR」と考えています。

CSRレポート 2010-2011

Corporate Social Responsibility Report 2010-2011

CSR CUBE

3つの活動領域と
3つの活動層の
組み合わせ



活動層Ⅰ 環境共生活動



地球に負の影響を及ぼす環境負荷の抑制・軽減に努め、環境保全に資する商品・サービスを提供します。

活動層Ⅱ 生涯学習支援



すべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援していきます。

活動層Ⅲ ユニバーサルアクション



店舗や商品・サービス、窓口での応対などさまざまな面において「みんなにやさしい」アクションを展開します。

銀行業務プロセスによるCSR



コーポレートガバナンス、法令遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる態勢構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動などといった、銀行業務の全プロセスにかかわる取り組み。

銀行の商品・サービスによるCSR

銀行の持つ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取り組み／金融ビジネス。



本業外の社会貢献によるCSR

本業とは直接的な関係は薄いですが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取り組み（ボランティア、芸術文化活動など含む）。



FFGのホームグラウンドである九州の豊かな自然は、私たちの宝。その想いを大切に、FFGは環境負荷の抑制・軽減に努め、環境に配慮した商品・サービスを提供します。

FFGの環境方針 4つの柱

①EMSの継続の実施

- 地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通じて達成を目指します。
- 活動を評価し、必要な見直しを行うなど、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

②本業を通じた環境面への取り組み

- 本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。

③環境配慮活動の実施

- 省エネ・省資源活動への取り組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。

④全役職員への周知と徹底

- 本方針を当グループ全役職員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。

営業車両へのエコカー導入
CO₂削減のため、FFGでは営業車両のうち普通乗用車

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」
環境に配慮した経営を行う企業の取り組みをFFG独自の「環境格付」で評価し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品です。国の環境施策に限らず「玄界灘や有明海など九州の自然」や「地産地消を意識した企業の環境保全の努力を評価項目に取り入れるなど、オリジナリティのある地元密着型の商品です。
今後環境ビジネスの展開に積極的に取組んでまいります。

FFGグループの環境への取り組み

チャレンジ25への参加
日本の森を守る会への参加

環境に配慮した商品・サービス

- ・エコアクションポイント事業
- ・環境格付融資 FFG「エコ・ローン」
- ・排出権取引

環境負荷の抑制・軽減に向けた活動

- ・エコオフィス化の推進
- ・営業車両へのエコカー導入
- ・ライトダウンイベントの実施
- ・営業拠点一帯の清掃活動（社内の取り組み）
- ・クールビズ・ウォームビズ
- ・エコキャップ運動への取り組み
- ・ゴミの分別の徹底
- ・エコってカエル（エコアクションとメリハリのある勤務体制の実現）

エコオフィス化推進中
FFGでは、環境に配慮したエコオフィス化を進めています。FFG本社ビル・FFG佐世保ビルに続き、福岡銀行店舗外ATMコーナー「平尾山荘通り出張所」でも、屋上の太陽光発電のほか、LED照明の採用など、エコの仕組みを数多



太陽光発電パネル (FFG 佐世保ビル)

（一部除く）について、ハイブリッドカーの導入を実施しました。本取り組みにより、年間16tのCO₂削減を見込んでいます。

住みよい街づくり
地域の一員として、住みよい街づくりに貢献するため、定期的な清掃活動を行っています。今年3月には、九州新幹線全線開業を前に、熊本駅周辺にて、熊本ファミリー銀行が一斉清掃活動を



熊本駅周辺の一斉清掃活動

ライトダウンイベントの実施
日頃いかに照明を使用しているかを実感することを目的とした「ライトダウンイベント」を実施し、七夕や冬至など特定の日にオフィス施設の照明を一齐に消して、日常生活の中での温暖化対策実践を呼びかけています。

く取り入れていきます。また、営業店のATMコーナーなどへのLED照明採用、福岡銀行三萩野支店での屋上緑化など、エコオフィス化も推進しています。LED照明の採用により、電力量年間500kWh、CO₂排出量191tの削減が期待できます。

「エコ・キャップ運動」への取り組み
FFG本社ビルにおいて「エコ・キャップ運動」を展開しています。これは、通常一般「ゴミ」として捨てられてしまうペットボトルのキャップを回収し、再資源化を促進するという活動で、リサイクルだけでなく、ゴミの焼却処分にかかるCO₂発生を抑制することもできます。
また、キャップの再資源化による収益は、ワクチン寄贈団体を通じて途上国の子どもたちのもとに届けられています。平成23年4月までに、128,000個が集まり、160人分のワクチンの寄贈に貢献することができました。本運動は、環境活動に加え、社会貢献にもつながるものであり、今後も積極的に取組んでまいります。



実施し、約470人の参加者が集まりました。

FFGはすべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援してまいります。

福岡銀行では、本店ビル4階のセミナールームにおいて、投資信託の運用報告会をはじめ、年金・保険・住宅など、さまざまなテーマについて外部講師による無料(一部有料)のセミナーを開催しています。また、金融商品・サービス以外にも、マナーや美容レッスンといった生活に関する趣味や健康などの情報についても多彩なセミナー



年金セミナー(熊本ファミリー銀行)



マネーセミナー(福岡銀行)

お客さまの金融知識をサポートするセミナー

お客さまに金融についての正しい知識を身につけて合理的な判断をしていただけるよう、豊富なセミナーを開催しています。

金融を通じた生涯学習支援

金融を通じた生涯学習支援

- ・お客さま向け各種セミナーの開催
- ・シリーズ講座「素敵ママの学びCollege」

次世代を担う子どもたちへ

- ・「銀行の職場探検」プログラムの展開
- ・特別支援学校への図書寄贈
- ・ジョブシャドウの実施
- ・SCPへの支援
- ・家族参観日の実施

スポーツ・文化イベント

- ・文化・芸術イベントへのご招待
- ・ビルの谷間のコンサート
- ・地域貢献イベントの開催

法人へのサポート

- ・調査月報の発行
- ・九州の経済・経営情報のご提供
- ・各種セミナー・商談会の開催

メニューを展開しています。熊本ファミリー銀行や親和銀行でも、資産運用などのセミナーを開催していますので、ぜひお気軽にお尋ねください。

シリーズ講座「素敵ママの学びCollege」の開催

子育てや家事に忙しく、学習したりリフレッシュする機会が少ない、というお母さんたちを応援するため、FFGでは全4回のシリーズ講座「素敵ママの学びCollege(定員30名)」を開催しました。各分野の専門家を迎え、節約術や育児の提案、「きれいのコツ」を学ぶブラッシュアップ講座と、個々のテーマに沿ってお金の面からアドバイスするライフプラン講座の2部で構成し、最終回は前3回のまとめとして、「素敵ママの未来予想図」をテーマにファイナンシャルプランナーとともに将来に向けたライフプランをご提案しました。



次世代を担う子どもたちへ

「銀行の職場探検」プログラムの展開

平成22年4月から、FFGグループ3行の営業拠点がある地域の小・中学生を対象として、「銀行の職場探検」プログラムを展開しており、平成23年5月までに、FFGグループ3行27店舗で実施、348人を受け入れました。模擬紙幣での札勘やロビーでのお客さまへの挨拶など、学校の授業では得られない体験を通じて、「金融・銀行」の社会的な役割などを身近に楽しく学ぶ機会を提供しています。



「ジョブシャドウ」※



FFGグループでは、平成20年から職場体験プログラム「ジョブシャドウ」を展開しています。3年目となった平成22年度は親和銀行でも初めて実施し、3行で8校から85名の高校生を受け入れました。このプログラムは、社員1名に生徒1名が常時同行(シャドウイング)し、「働くこと」の意義や将来設計に関しての考え方を深めるきっかけを提供す

文化・芸術・スポーツ活動

お客様に
感謝の気持ちを込めて

日頃からご愛顧いただいている地域の皆さまに感謝の気持ちを込めて、文化や芸術、スポーツなどをもっと身近にお楽しみいただけるよう、FFGではさまざまなイベントの開催や協賛・支援などを行っています。

毎年定例となっている「ニューイヤークンサートをはじめ、福岡銀行では「2010博多・



女声合唱フェスティバル



ふくぎん少年少女テニス大会



ながさき音楽祭2010



2010博多・天神落語まつり 招福寄席

天神落語まつり 招福寄席」や博多座公演「新裸の大将放浪記」へお客様をご招待したり、「ふくぎん少年少女テニス大会」などの開催を行っています。熊本ファミリー銀行でも毎年「ママさんバレーボール大会」や「女声合唱フェスティバル」などへ協賛、親和銀行も

長崎県主催の「ながさき音楽祭2010」に特別協賛するなど地域の文化・スポーツ活動を支援しています。

ロビー展

「地元在住の画家・写真家が大どる『五足の靴』絵画展・写真展」の開催

FFGの基盤である福岡・熊本・長崎を舞台とした、与謝野鉄幹ら5人の詩人による紀行文「五足の靴」にちなんだ絵画・写真展を、グループ3行の本店および主要2拠点で順次開催しました。

こうしたロビー展を通じて、地域との共生について考える機会をご提供するとともに、地元芸術家の活躍も後押ししていきたいと考えています。



るものです。生徒たちは、学校とは異なる「企業」の緊張感や雰囲気、業務に従事する社会人の仕事ぶりを肌で感じたようです。

※「ジョブシャドウ」は公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(以下JJA)の登録商標であり、JJAが提供する体験型実技プログラムです。

特別支援学校への図書寄贈



FFGでは、子どもたちに豊かな感受性や人間形成に役立つ学びの機会を提供するために、初等教育の現場で読書活動に力を入れている特別支援学校への図書寄贈を行っています。平成22年度も、築城

特別支援学校(福岡県築上市)、柳河特別支援学校(福岡県柳川市)、松橋養護学校(熊本県宇城市)、諫早特別支援学校(長崎県諫早市)の4校へ、計436冊を寄贈しました。

家族参観日

FFGでは、毎年夏に「家族参観日」をグループ3行で開催しています。

これは従業員の家族が職場を訪問し、働く従業員の姿を見学したり、さまざまな職場体験を行ったりするものです。FFGでは今後も従業員と家族のコミュニケーションを促進し、仕事と家庭の調和(Hワーク・ライフ・バランス)の推進に積極的に取り組んでいきます。



FFGは、高齢者、女性、子ども、障がい者などに特定しない「みんなにやさしい」の実現を目指したアクションを展開しています。



ユニバーサルアクション
3つの軸

ハード
店舗設備 各種機器

ソフト

「あなたのいちばんに。」
を目指した商品・
サービス

ヒューマン

従業員一人ひとりの
「おもてなしの心」

銀行にご来店のお客さまへ

銀行にご来店のお客さまへ

- ・「みんなにやさしい」店舗づくり
- ・各種ユニバーサルツール
- ・サービス介助士
- ・車椅子・AED全店配置

地域貢献活動

- ・東日本大震災・宮崎県口蹄疫被害への復旧支援活動
- ・地域のお祭りへの参加
- ・みんなの110番
- ・「小さな親切」運動(熊本ファミリー銀行)
- ・親和銀行ふるさと振興基金

社内の取組み

- ・ユニバーサルアクション・プログラム
- ・TABLE FOR TWO

「みんなにやさしい」店舗づくり
「みんなにやさしい」をモットーに、お客さまとの接点である店舗のリニューアルを進め、カウンターなどには木質を基調とし

たデザインを使用するなど、温かみや居心地の良さを感じていただけるよう演出しています。

また、ご来店いただくすべてのお客さまが安心してお手続きできるよう、FFGでは全店に配置したお客さま責任者(支店長・副支店長)を中心にサービス介助士の資格取得を推進しています。現在、平成23年5月末までに、福岡銀行で301名、FFG全体で500名を超えるサービス介助士が誕生し、お客さまのサポートをさせていただいています。

さまざまなユニバーサルツール
をご用意

FFGでは全店舗に車椅子を

ご用意してお客さまをお迎えしています。スロープや段差のない入り口、つかまりやすい波型手すり、座ったまま利用できる記帳台や専用窓口の設置をすすめるなど、バリアフリー機能の拡充もすすめています。

目が不自由な方にも安心してご来店いただけるよう、全店に音声案内付ATMを設置。一部店舗には音声で店舗内の配置を確認できる「音声付触知案内」も設置しています。

また、筆談のほか全店に設置のコミュニケーションボードでご案内いたしますので、耳の不自由な方や口話に不安のある方、外国人の方も安心してご利用いただけます。携帯助聴器も全店にご案内しますので、お気軽にお申し出ください。

お手洗いの設置

お客さまのご要望にお応えして、建替え店舗には全店、改修・既存店舗にも可能な限り、お手洗いの設置を進めています。多目的トイレは、車椅子の方もゆったり入れるよう広いスペースにしており、授乳室としてもご利用いただけます。



コミュニケーションボード



音声付触知案内



座って利用できる記帳台



スロープ



多目的トイレ



耳マーク案内板



後方が確認できるエレベーター



波型手すり

地域貢献活動

東日本大震災による被災地へのユニバーサルアクション

FFGグループの従業員から集まった約35百万円の募金と、FFG3行からの総額1億円の寄付とを合わせ、被災地への義援金を送りました。

また、東日本大震災による被災地への救援物資として、福岡銀行で、従業員に毛布や子ども用の衣服の提供を呼びかけたところ、毛布計891枚、衣服6,995着が集まり、行員をはじめとする



救援物資の積み込み



行員から集まった衣類など



宮崎県口蹄疫被害に対する復旧支援活動



総員1,243名のボランティアによる集荷作業・搬送準備を行いました。

宮崎県口蹄疫被害に対する復旧支援活動

宮崎県で発生した口蹄疫被害からの復旧を支援するため、FFGグループ3行および関連企業グループの役員による募金にFFGからの寄付金を加え、義援金を贈りました。

また、チャリティーイベントとして、福岡銀行本店広場で「がんばろう!!宮崎物産フェア」を開催し、2日間で7,000名を超える方にご来場いただきました。出店企業の売上の一部を寄付金としたほか、来場者の方々からも募金が寄せられ、改めて宮崎県へエールを送りました。

「みんなの110番」

平成22年4月1日から「みんなの110番」活動をFFGグループの全営業拠点で共同実施しています。各種犯罪被害から子どもを守り、警察への連絡を行うという「子ども110番」の取組みを、FFGでは「ユニバーサルアクション」の基本精神である「みんなにやさしい」に基づいて拡大し、女性や高齢者の方などを含む地域の皆さまを対象に展開しています。

information

FTSE4Good Indexの構成銘柄に選出されています。

FFGは、平成21年9月に英国のフィナンシャルタイムズ社とロンドン証券取引所の協同出資会社であるFTSE社の「FTSE4 Good Index」の構成銘柄に選ばれ、今年度も更新されました。



「FTSE4 Good Global Index」は2001(平成13)年にFTSE社が開発・提供を開始した株式指標。企業責任活動において国際基準を満たす企業を構成銘柄とするSR(社会的責任投資)の代表的指標で、世界2大SRIインデックスの一つとされ、CSRに関心を持つ投資家の投資選択基準となっている。

社内の取組み

「ユニバーサルアクション・プログラム」がスタート

FFGは、今まで以上に役員一丸となってユニバーサルアクションを展開していくため、平成22年11月から「ユニバーサルアクション・プログラム」をスタートさせ、地域社会のためにできるアクションを営業拠点ごとに考えて活動する「ひとりアクション」に取組んでいます。

また、「みんなにやさしい」の観点から選定した環境・福祉・コミュニケーションに役立つ資格・スキルを1人1つ以上取得する「ひとりスキル」にも取組み、認知症サポーター、手話検定、ビジネス点字検定、Eコ検定、九州観光マスター検定などといったスキルを活かしたお客さまへのサポートを目指します。

「TABLE FOR TWO」の取組み

平成21年6月から、従業員の健康維持と社会貢献に同時に取組む「TABLE FOR TWO」に参加しています。本取組みは、社員食堂でヘルシーメニューを購入すると1食につき20円が開発途上国の学校給食費として寄付されるという仕組みで、現在FFG本社およびグループ3行本店、熊本ファミリー銀行中央支店の5拠点で実施しており、4月末までの寄付金は439,370円となりました。

歴史 SPOT C 門司港レトロ

明治・大正時代に国際貿易港として栄えた古きよき時代を思わせる街並みと、新しい都市機能が調和した都市型観光地。歴史ある多くの建築物が資料館などの形で利用されています。

ノスタルジックな洋館の街



●門司港レトロ総合インフォメーション TEL093-321-4151

福博みなとであい船 天神・能古島コース航路



福岡銀行 (平成23年5月末現在)

福岡県	148店舗
熊本県	1店舗
長崎県	2店舗
九州域内の福岡・熊本・長崎県外	9店舗
合計	160店舗
ATM(九州域内)	1,248台

来て！
見て！

マイタウン My Town
～福岡編～

Vol.3

このコーナーでは、FFGの主要拠点である福岡・熊本・長崎の3県をご紹介します。今回は、新博多駅ビル「JR博多シティ」で注目を集める「福岡県」にフォーカスしました！

NEW SPOT A JR博多シティ

「アミュプラザ博多」には229もの専門店が入り、日本最大級のレストランゾーン「シティダイニングくうてん」も大きな話題に。多種多様の樹木や花々が美しい屋上の「つばめの杜ひろば」も必見です。

●JR博多シティ アミュプラザ博多 総合インフォメーション：TEL092-431-8484(10時～21時)

約50年ぶりに
リニューアル！



NEW SPOT B 福博みなとであい船

3月27日に運航を開始。アクロス福岡横の天神中央公園と「ベイサイドプレイス博多」を結び1日6往復の定期便※1の他、夜間限定の「那珂川周遊コース」※2「那珂川・博多湾周遊コース」※3、土日祝日限定の「天神・能古島コース」※4も運航しています。

●※1・2：日本海洋観光(株) TEL092-263-8113
※3・4：(株)能古マリン観光 TEL092-651-6555



水辺からの景色が新鮮！

H

詩情ただよう水郷の里



歴史 SPOT H 柳川

江戸時代に柳川藩の城下町として栄えた往時を偲ばせる町並みを掘割が巡り、川下りを楽しめる水郷の里。「松濤園」や赤煉瓦の「並倉」など歴史的名所が多く、詩人北原白秋生誕の地として生家も保存公開されています。

●柳川市観光案内所 TEL0944-74-0891

ビックリ!福岡

粉食文化の発祥の地！

古くから大陸との交流窓口だった博多は、さまざまな食文化の発祥の地。鎌倉時代の高僧・聖一国師が中国・宋の製粉技術や饅頭の製法を伝えたことから、日本の粉食文化(うどん、蕎麦、饅頭など)が生まれたと言われています。お茶は臨濟宗の祖・栄西禅師が宋から種子を持ち帰ったのが始まりです。



承天寺境内の饅頭発祥の碑



博多名物 ごぼ天うどん

「JR博多シティ」が九州の新たな玄関口に

～新旧の魅力を放つ福岡県～

3月3日に開業した「JR博多シティ」には、「博多阪急」や「東急ハンズ」をはじめ、「九州初」が目白押し。来場者数は1カ月で726万人と目標の600万人を上回りました。天神ー博多間のバス利用者も博多シティ開業前の約3割増となり、福博の街を歩き来して買い物などを楽しむ人が増えているようです。そんな福岡には歴史や自然を満喫できるスポットも盛りたくさん。ちょっと足を延ばせば小さな旅が実現します。



40万石大名の居城を再建

歴史SPOT D 小倉城

細川忠興によって慶長7年(1602年)に築かれた五重六層の天守閣を持つ唐造りの城。現在は「からくりシアター」などハイテク技術を駆使した体験型歴史資料館になっています。

●北九州市小倉北区城内2-1 勝山公園内
TEL093-561-1210



歴史SPOT E 水鏡天満宮

「天神」の地名は、天神様こと学問の神様・菅原道真を祭るこの神社に由来。大宰府に流された菅原道真が憔悴した自分の姿を川面に映したことからこの名がつけられたと言われています。

●福岡市中央区天神1-15-14
TEL092-741-8754



ビルの谷間に佇む紅いお社

写真提供:福岡市

歴史SPOT F 御供所寺町

地下鉄祇園駅4番出口から高僧・聖一国師を開祖とする「承天寺」までは徒歩2分。そこから御供所町、上呉服町へと続く路地には数々の寺社仏閣が点在しています。秋には幻想的なイベント「博多灯明ウォッチング」も。

●博多部まちづくり協議会(御供所公民館)
TEL092-281-5512



博多湾に浮かぶ緑と花の別天地



写真提供:福岡市

博多の奥深さが漂う散策エリア

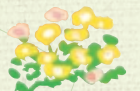
歴史SPOT G 能古島

緑豊かな自然と歴史に恵まれた周囲12kmの美しい島で、奈良時代は防人が置かれ、山上憶良の作と言われている万葉歌碑も。島北部の「このしまアイランドパーク」には四季の花々が咲き誇っています。

●このしまアイランドパーク
TEL092-881-2494



写真提供:福岡市



ご当地グルメ

- 水炊き・もつ鍋
- 豚骨ラーメン
- 明太子
- おきゅうと
- うなぎのせいろ蒸し



人気のお土産

- 豚骨ラーメン
- うなポッキー
- まごじ凧

北九州を代表する郷土玩具の一つ。北九州産の竹と八女の手漉き和紙が使われ、福岡県特産工芸品に指定されています。



カイトハウスまごじ:093-881-4537

- ぬか炊き
- 地酒

これからの主なイベント

- 博多祇園山笠
…平成23年7月10日～15日(流昇き～追い山)
- 黒崎祇園山笠
…平成23年7月20日～23日(前夜祭～本山笠)
- おおむた大蛇山祭り
…平成23年7月23日・24日(おまつり広場行事)
- 水の祭典久留米まつり
…平成23年8月3日(前夜祭)・4日(本祭)

わっしょい百万夏まつり

「わっしょい百万夏まつり」は、昭和63年の市制25周年を機に、市民の心を一つに合わせ多くの人々が楽しめる祭りとしてスタート。毎年8月の第1土・日曜日に開催され、150万人を超える人々が市内外から訪れる北九州市の夏の風物詩です。昨年は福岡銀行からも北九州地区の行員41名と吹奏楽団44名、福岡ファイバーパードパトンチーム7名からなる大パレード隊が参加し、沿道の皆さんから大きな声援をいただきました。もちろん今年も意欲满满!着々と準備が進んでいます。



損益状況(連結ベース)

● FFG連結

(単位:億円)

	平成21年度	平成22年度	前年比
経常収益	2,572	2,510	▲62
業務粗利益	2,015	2,010	▲5
資金利益	1,630	1,613	▲17
役務取引等利益	246	234	▲12
特定取引利益	3	2	▲0
その他業務利益	137	161	24
経費(除く臨時処理分)▲	1,259	1,233	▲26
業務純益※1	659	794	135
コア業務純益※2	715	701	▲14
経常利益	331	499	168
当期純利益	284	260	▲24
信用コスト※3▲	268	182	▲86

「経常収益」は、金利低下による資金運用収益の減少等により、前年比62億円減少の2,510億円となりました。

「コア業務純益」は、資金利益の減少等を経費削減で一部カバーしましたが、前年比14億円減少し、701億円となりました。

「経常利益」は、信用コスト(償却債権取立益を除く)の減少および有価証券(株式・債券)関係損益の増加等により前年比168億円増加し、499億円となりました。

「当期純利益」は、前年度において連結子会社の清算に伴う繰延税金資産160億円の計上があったため、前年比24億円減少し、260億円となりました。

※1 業務純益=業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

※2 コア業務純益=業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

※3 信用コスト=一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益

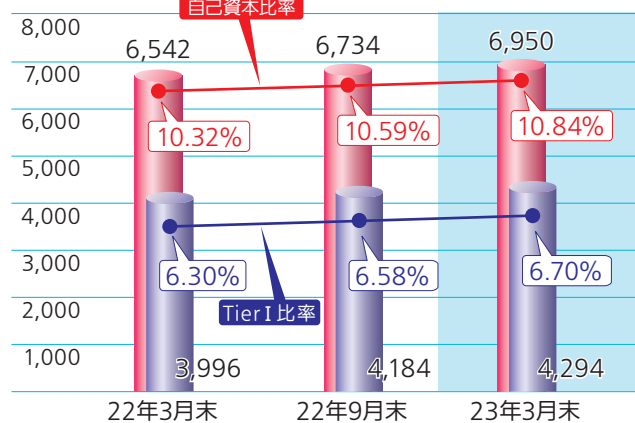
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率は、22年9月末比0.25ポイント上昇し10.84%、Tier I比率も同0.12ポイント上昇し、6.70%となりました。

自己資本比率・Tier I比率

自己資本額 Tier I

(単位:億円)



不良債権の状況(3行単体合算)

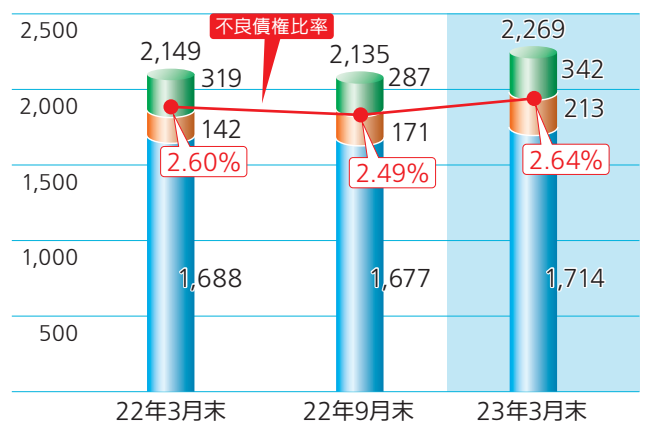
【部分直接償却後】不良債権残高は、22年9月末比135億円増加し、2,269億円となりました。不良債権比率は同0.15ポイント上昇し、2.64%となりました。

不良債権残高・比率

福岡銀行 熊本ファミリー銀行 親和銀行

(単位:億円)

※部分直接償却後



●自己資本比率
自己資本比率とは、リスク・アセット(貸出金などの資産)に占める自己資本の割合をパーセンテージで表したものです。

●不良債権
元本や利息の返済が行われな可能性のある債権のことで、残高が多ければ、健全性にマイナスの影響を及ぼす可能性があります。

また、貸出金に対して不良債権の残高/貸出金)を示す不良債権比率が低ければ健全性に優れていると言えますし、その割合が減少してきているかどうかは、健全性を示す一つのポイントになります。

銀行の健全性を示す指標には、自己資本比率があります。国内基準では4.0%(国際基準では8.0%)以上が求められており、自己資本比率が高いほど経営が安定し、健全性も高いと言えます。

「コ」がポイント
銀行の健全性をみるには?
銀行の健全性を示す指標には、自己資本比率があります。



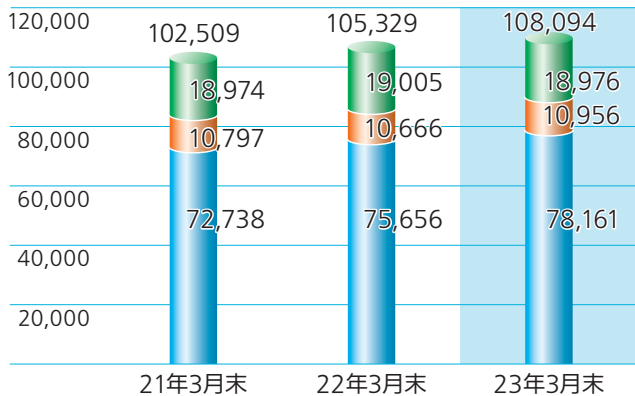
ふくおかフィナンシャルグループ 平成22年度の業績ハイライト

総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比2,765億円増加し、10兆8,094億円となりました。

※NCD…譲渡性預金

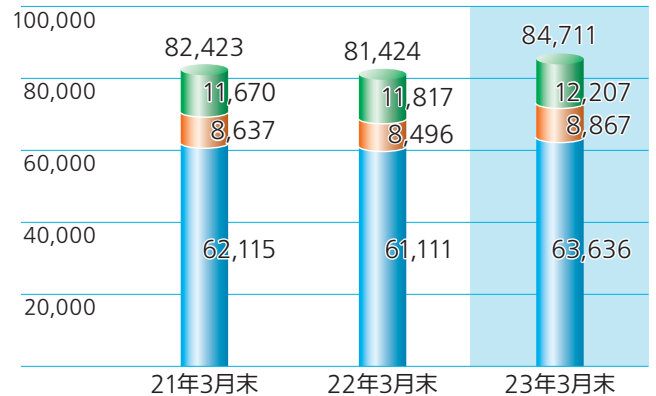
総資金残高(期末残高) 福岡銀行 熊本ファミリー銀行 親和銀行 (単位:億円)



貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしました結果、前年度末比3,287億円増加し、8兆4,711億円となりました。

貸出金残高(期末残高) 福岡銀行 熊本ファミリー銀行 親和銀行 (単位:億円)



ふくおかフィナンシャルグループの格付情報

種類	格付	格付の定義
■ふくおかフィナンシャルグループ		
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
	短期債格付	a-1 短期債務履行の確実性は高い。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A 債務履行の確実性は高い。
	短期債格付	J-1 短期債務履行の確実性が最も高い。
■福岡銀行		
ムーディーズ	長期預金格付	A3 ※ 「A」は中級の上位で、信用リスクが低いと判断される預金債務に対する格付け。
	短期預金格付	P-2 短期預金債務の返済能力が高いと判断される発行体(または信用補完提供者)に対する格付け。
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A+ 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A+ 債務履行の確実性は高い。
■熊本ファミリー銀行		
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A 債務履行の確実性は高い。
■親和銀行		
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A 債務履行の確実性は高い。

※引き下げ方向で見直し対象

(平成23年6月1日現在)



福岡銀行 平成22年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成21年度	平成22年度	前年比
経常収益	1,819	1,782	▲37
業務粗利益	1,357	1,328	▲29
資金利益	1,133	1,126	▲7
国内部門	1,075	1,081	6
国際部門	59	45	▲14
役務取引等利益	150	145	▲5
特定取引利益	2	2	0
その他業務利益	72	55	▲16
経費(除く臨時処理分)▲	731	711	▲19
業務純益	482	607	124
コア業務純益	599	581	▲18
経常利益	305	441	137
当期純利益	340	267	▲73
信用コスト▲	206	137	▲69

「経常収益」は、金利低下による資金運用収益の減少等により、前年比37億円減少の1,782億円となりました。

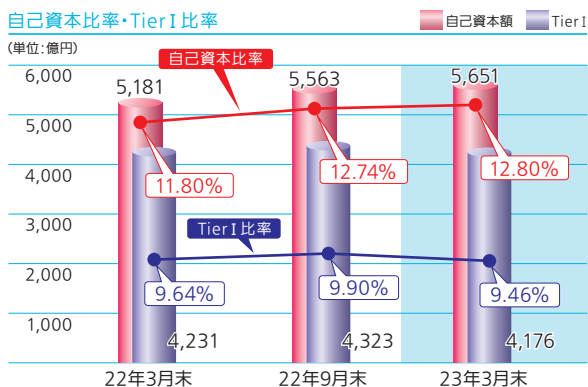
「コア業務純益」は、その他業務利益(国債等債券損益除く)の減少等を経費削減で一部カバーしましたが、前年比18億円減少し、581億円となりました。

「経常利益」は、信用コスト(償却債権取立益を除く)の減少および有価証券(株式・債券)関係損益の増加等により前年比137億円増加し、441億円となりました。

「当期純利益」は、前年度において連結子会社の清算に伴う繰延税金資産160億円の計上があったため、前年比73億円減少し、267億円となりました。

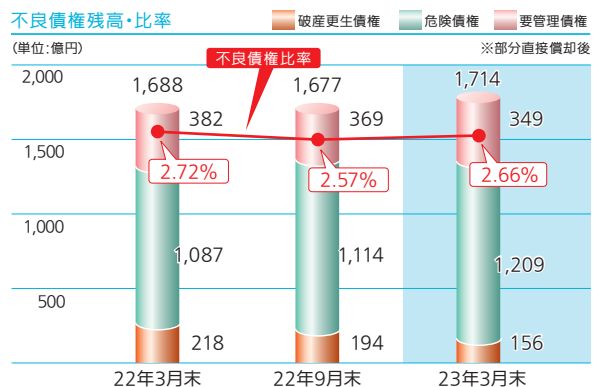
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率(国内基準)は、22年9月末比0.06ポイント上昇し12.80%、TierI比率は同0.44ポイント低下し、9.46%となりました。



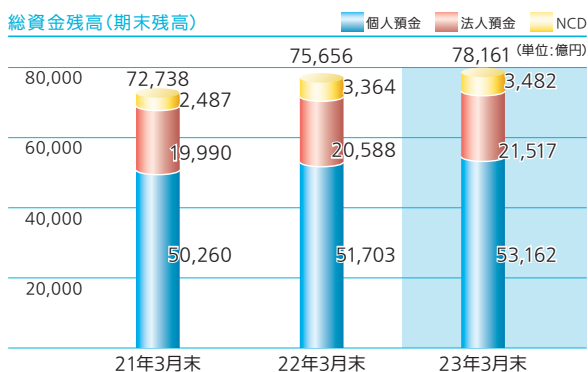
不良債権の状況

【部分直接償却後】不良債権残高は、22年9月末比38億円増加し、1,714億円となりました。不良債権比率は同0.09ポイント上昇し、2.66%となりました。



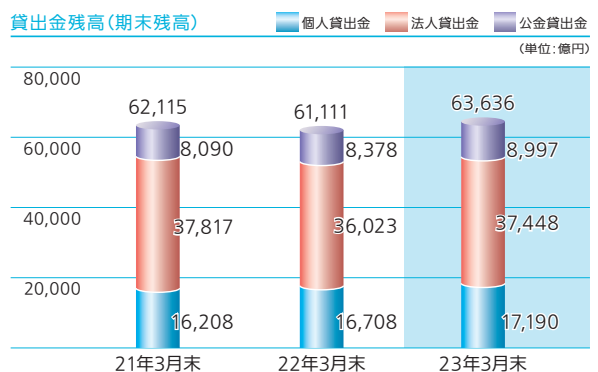
総資金(預金+NCD)の状況

個人のお客さまからの積極的な預金獲得に伴い、個人預金が前年度末比1,459億円増加したことを主因に、前年度末比2,505億円増加の7兆8,161億円となりました。



貸出金の状況

地元企業を中心とした新規取引の開拓など積極的な需需の取込みや住宅ローンを中心とした個人部門(個人貸出金)の推進を図った結果、総貸出金は前年度末比2,525億円増加し、6兆3,636億円となりました。





熊本ファミリー銀行 平成22年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成21年度	平成22年度	前年比
経常収益	302	282	▲20
業務粗利益	241	234	▲7
資金利益	213	204	▲9
国内部門	212	203	▲9
国際部門	1	1	0
役員取引等利益	17	19	2
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	11	11	▲0
経費(除く臨時処理分)▲	169	160	▲8
業務純益	49	88	39
コア業務純益	64	66	2
経常利益	10	41	31
当期純利益	4	24	21
信用コスト▲	28	12	▲16

「経常収益」は、金利低下による資金運用収益の減少等により、前年比20億円減少の282億円となりました。

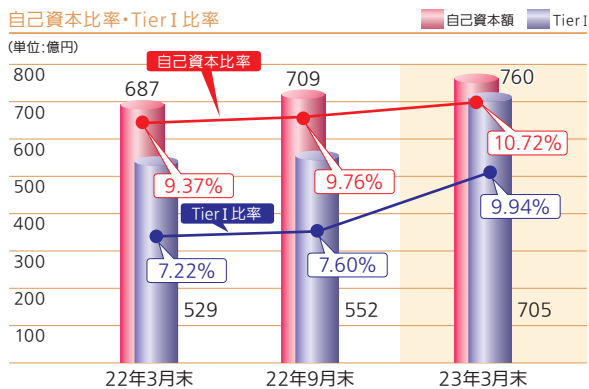
「コア業務純益」は、資金利益の減少等を役員取引等利益の増加、経費削減によりカバーした結果、前年比2億円増加し、66億円となりました。

「経常利益」は、信用コスト(償却債権取立益を除く)の減少および株式等関係損益の増加等により前年比31億円増加し、41億円となりました。

「当期純利益」は、前年比21億円増加し、24億円となりました。

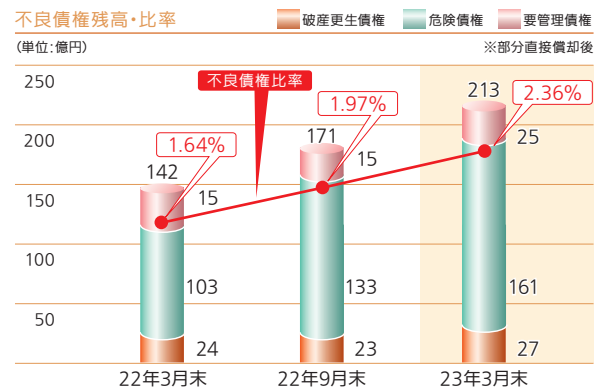
自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率(国内基準)は、22年9月末比0.96ポイント上昇し10.72%、Tier I比率も同2.34ポイント上昇し、9.94%となりました。



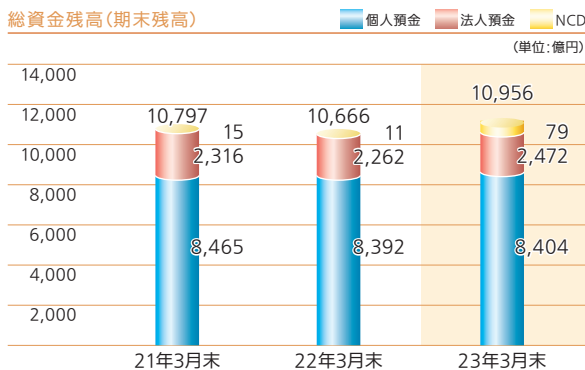
不良債権の状況

【部分直接償却後】不良債権残高は、22年9月末比43億円増加し、213億円となりました。不良債権比率は同0.39ポイント上昇し、2.36%となりました。



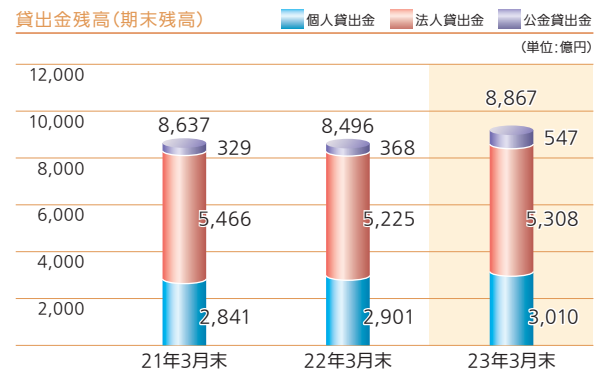
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比290億円増加し、1兆956億円となりました。



貸出金の状況

地元企業を中心とした新規取引の開拓など積極的な需資の取込みや住宅ローンを中心とした個人部門(個人貸出金)の推進を図った結果、総貸出金は前年度末比370億円増加し、8,867億円となりました。





親和銀行 平成22年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成21年度	平成22年度	前年比
経常収益	432	418	▲13
業務粗利益	333	353	20
資金利益	282	280	▲2
国内部門	278	276	▲2
国際部門	4	4	▲0
役務取引等利益	46	38	▲8
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	5	35	30
経費(除く臨時処理分)▲	238	235	▲3
業務純益	95	132	38
コア業務純益	91	86	▲5
経常利益	74	95	21
当期純利益	61	96	34
信用コスト▲	▲25	6	31

「経常収益」は、金利低下による資金運用収益の減少等により、前年比13億円減少の418億円となりました。

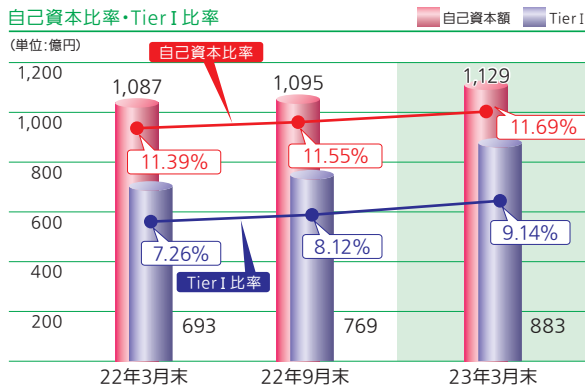
「コア業務純益」は、資金利益および役務取引等利益の減少等により、前年比5億円減少し、86億円となりました。

「経常利益」は、信用コスト(償却債権取立益を除く)は増加しましたが、有価証券(株式・債券)関係損益の増加等により、前年比21億円増加し、95億円となりました。

「当期純利益」は、前年度要因(事務・システム統合費用▲29億円等)がなくなったこと等により、前年比34億円増加し、96億円となりました。

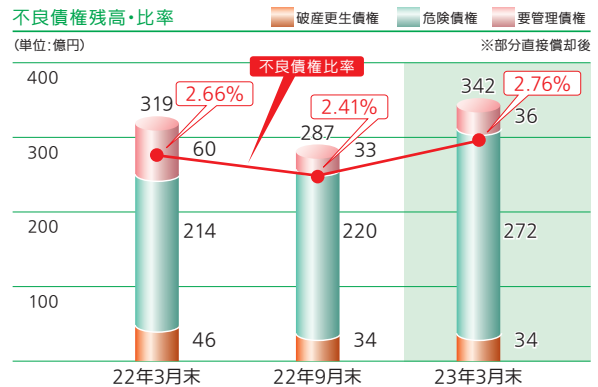
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率(国内基準)は、22年9月末比0.14ポイント上昇し11.69%、Tier I比率も同1.02ポイント上昇し、9.14%となりました。



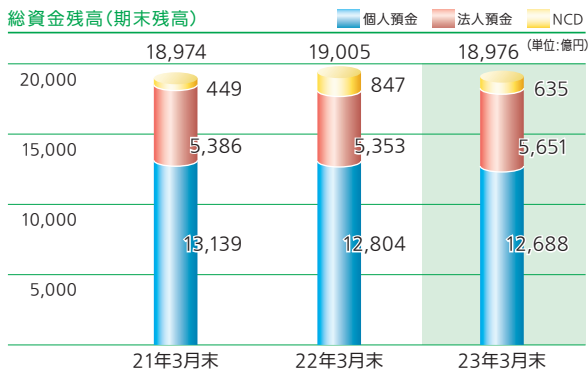
不良債権の状況

【部分直接償却後】不良債権残高は、22年9月末比54億円増加し、342億円となりました。不良債権比率は同0.35ポイント上昇し、2.76%となりました。



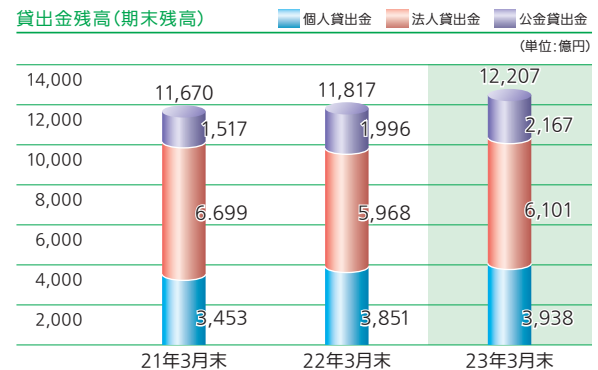
総資金(預金+NCD)の状況

資産運用商品へのシフト等の影響により、個人預金が前年度末比116億円減少したことを主因に、前年度末比29億円減少の1兆8,976億円となりました。



貸出金の状況

地元企業を中心とした新規取引の開拓など積極的な需資の取込みや住宅ローンを中心とした個人部門(個人貸出金)の推進を図った結果、総貸出金は前年度末比390億円増加し、1兆2,207億円となりました。



グループ銀行プロフィール

平成23年5月末日現在

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

■連結子会社 21社 ■関連会社(持分法適用会社) 3社

福岡銀行

■連結子会社13社 ■関連会社(持分法適用会社) 3社

設立日 昭和20年3月31日
 本社所在地 福岡県福岡市中央区天神二丁目13番1号
 電話(代表) 092-723-2131
 資本金 823億円
 U R L <http://www.fukuokabank.co.jp/>

熊本ファミリー銀行

設立日 昭和4年1月19日
 本社所在地 熊本県熊本市水前寺六丁目29番20号
 電話(代表) 096-385-1111
 資本金 338億円
 U R L <http://www.kf-bank.jp/>

親和銀行

■連結子会社4社
 設立日 昭和14年9月1日
 本社所在地 長崎県佐世保市島瀬町10番12号
 電話(代表) 0956-24-5111
 資本金 368億円
 U R L <http://www.shinwabank.co.jp/>

ふくおかフィナンシャルグループは九州を基盤とした広域展開型地域金融グループです。

明治10年第十七国立銀行として創業。福岡市に本店を置き、主に九州全域の営業を行っている。本店は、建築家の黒川紀章氏により設計されたもので、平成21年にFFGのリテール営業の旗艦店として本店営業部がリニューアルオープン。外観上の最大の特徴である吹き抜けの大きなピロティは、公共空間として利用されることを意図したものであり、竣工した昭和50年以来、いこいの広場として親しまれている。

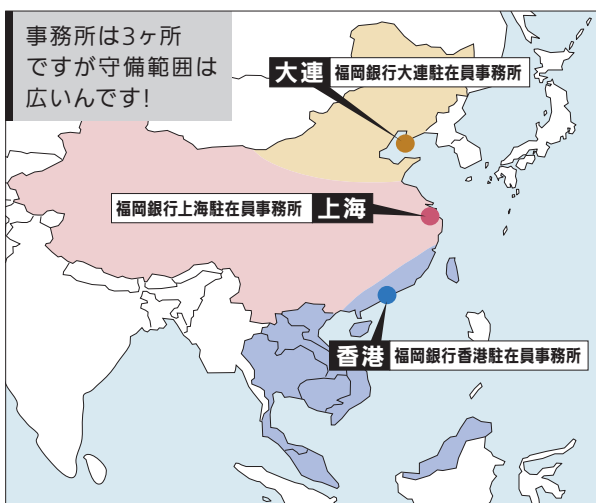
平成4年、熊本銀行と肥後ファミリー銀行が合併し、株式会社熊本ファミリー銀行が誕生。新たにデザインされたロゴマークは、熊本の4つの造形要素(阿蘇山、熊本城、草原、空と雲)から成り、中心の三角形は、お客さま・地域社会・熊本ファミリー銀行の調和と発展を期し、地域に根ざした銀行を表している。熊本市に本店を置き、熊本県内を主なエリアとして営業を行っている。

佐世保市に本店を置き、長崎県内を主なエリアとして営業を行っている。明治12年第九十九国立銀行として現在の平戸市に設立。昭和14年佐世保商業銀行と佐世保銀行が合併して、新たに株式会社親和銀行が設立される。平成15年九州銀行と合併。親和銀行の名前は、設立当時の副頭取であり、2代目頭取、その後は大蔵大臣を務めた北村徳太郎が命名した。本店の建築は、哲学的と称される独自の建築を生み出した建築家・白井晟一氏による設計。

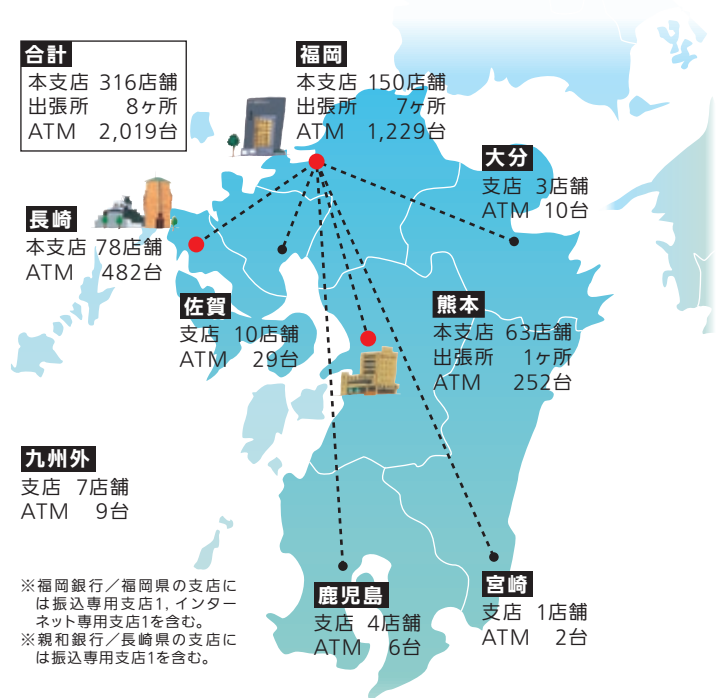
FFGのネットワーク

平成23年5月末日現在

海外ネットワーク



福岡銀行ニューヨーク駐在員事務所開設予定



ふくおかフィナンシャルグループ
Fukuoka Financial Group



商号等	株式会社福岡銀行 登録金融機関	株式会社熊本ファミリー銀行 登録金融機関	株式会社親和銀行 登録金融機関
登録番号	福岡財務支局長(登金)第7号	九州財務局長(登金)第6号	福岡財務支局長(登金)第3号
加入協会	日本証券業協会	日本証券業協会	日本証券業協会